

1号報告 1-1

2026年度事業計画書

1. 会員

会員への各種情報提供機能の強化、協賛行事の拡大など会員サービスの向上をはかり、正会員・維持会員等会員の維持、及び増加に務める。

2. 会誌

オリジナルな論文（研究／技術／総合）・ノート・速報、色材に関する先端技術から実用技術までを含む総説・解説・資料、テーマを厳選した講座（連載）・特集／小特集（年4回）、大学研究者インタビュー記事（不定期）等を掲載し、会員に有益かつ魅力的な情報を提供する。

3. 行事

行事の予定は次のとおりである。

	行事名	開催日	開催地
本部	2026年度色材研究発表会 鳥取県（とりぎん文化会館）	10/29、30	鳥取県
関東支部	第35回顔料分散講座（オンライン開催）	2/13	東京
	春季塗料講演会（ディーアイシービル）	5/15	〃
	印刷インキ入門講座（塗料会館ハイブリッド開催）	5/15	〃
	第66回塗料入門講座（日本ペイント東京事業所）	6/18, 19	〃
		7/2, 3	〃
	第4回インクジェット基礎講座（法政大学ハイブリッド開催）	8/末	〃
	第67回顔料入門講座（オンライン開催）	8/27, 28	〃
		9/3, 4	〃
	秋季塗料講演会（ディーアイシービル）	10/16	〃
関西支部	印刷インキ技術講座（塗料会館ハイブリッド開催）	10/9	〃
	第22回色材IT講座（ディーアイシービル）	11/末	〃
	色材産業紹介セミナー（オンライン開催）	1/28 実施	大阪
	色材マテリアル講座	2/25	〃
	色材セミナー（オンライン開催）	6/月上旬	〃
	色材分散講座（オンライン開催）	7/月上旬	〃
中部支部	第58回塗料基礎講座（オンライン開催）	10月中旬	〃
	色材講演会（オンライン開催）	11月下旬	〃
	色材セミナー（オンライン開催）	3/17	名古屋
	色材オブザベーション（見学会）	10月	
支部	第57回中部化学関係学協会支部連合秋季大会	11月	名古屋
	色材アドバンストセミナー	12月	名古屋

4. 委員会

(1)企画運営委員会	理事会の補佐機関として、将来計画を含む協会業務の全般的な企画、運営を図る。又、重点課題として、会員増強等協会全体の財政面の改革を取り上げ、対策の立案・推進を行う。
(2)編集委員会	論文等の審査のほか、特集・講座・インタビュー等の企画により、協会誌のさらなる充実および魅力向上を図る。
(3)メールマガジン委員会	協会の顔となるべくホームページが、会員にとって魅力ある内容へ改訂と充実を図る。メルマガの充実化に注力する。
(4)2026年度研究発表会実行委員会	2026年度色材協会研究発表会を2026年10月29日(木)、30日(金)の2日間、鳥取県、とりぎん文化会館で開催予定としている。 実行委員：増井先生、山口先生(鳥取大学)他未定
(5)国際化委員会	海外、特にアジア地域の色材関連機関、団体(CSI)7等との交流を深め、研究発表会には海外からの招待講演者を招聘すると共に一般参加者への広報を図る。
(6)その他の委員会	必要に応じて、企画運営委員会および理事会の議決を経て各種委員会を設け、協会業務の円滑な運営を図る。

5. 部会・研究会

(1) 顔料部会	関東、関西支部部会において、顔料に関する年間の行事と運営を行う。
(2) 塗料部会	関東、関西支部部会において、塗料に関する年間の行事と運営を行う。合同開催、入門講座の分割募集も議論する。
(3) 印刷インキ部会	関東、関西支部部会において、印刷インキに関する年間の行事と運営を行う。
(4) インクジェット部会	関東支部において、インクジェットの材料を中心とした技術に関する年間の行事と運営を行う。また、若手技術者を主に対象として、技術交流や企業見学を企画する技術研究会の運営を行う。
(5) 研究会 (i) 木材塗装研究会 (ii) 測色研究会 (iv) 印刷インキ技術研究会	木材の塗装・塗料に関する技術向上と産業界発展のために木材塗装基礎講座の開催、研修会、研究活動を実施する。 3月度2026年度研究発表会(Web開催) 秋 日本色彩学会研究会大会科学5研究会合同研究発表会 印刷インキとその関連材料に関する技術全般の調査、研究について、研究・講演への参加、見学会を行う。

6. その他

(1) 公益法人としての取組み	平成25年度に公益法人の手続きが完了。引き続き令和8年度も非営利型一般社団法人として活動が続ける。
-----------------	---